



② 分館対抗駅伝大会

第41回分館対抗駅伝競走大会が11月30日(日)、大崎ふれあいの里公園で行われました。

6分館から選抜された78選手らは特設周回コース(13区間、総距離12.5km)で健脚を競いあいました。

結果は、第4区からトップに立った大崎分館が優勝し、12連覇を果たしました。

なお、野方分館の山本怜歩くんが、1区(800m:小低学年男子の部)で2分58秒と大崎分館の牧原航くんが10区(1000m:小学校男子の部)で3分19秒のタイムで区間記録をそれぞれ更新しました。

③ 恒例の秋の花植え！大崎分館

11月16日(日)、大崎分館(分館長:川畑紘一さん)は、馬場集落内にある花壇に花植えを行いました。

当日は、分館の役員など15名が参加し、パンジーやノースポールなど花苗650本が植えられました。

※同分館では『大崎みまもり隊』が結成されており、地域内の防犯活動なども行われています。

① 『うそ電話詐欺』劇で注意喚起！

11月20日(木)、上仮宿公民館において、うそ電話詐欺の注意を呼びかける寸劇が行われました。

これは、志布志警察署の駐在所員3名(宇都鼻、大崎、菱田駐在所)を招いて、全国的にも増えてきている『うそ電話詐欺』に注意を呼びかけるため、老人倶楽部明星会といきいき夢サロンが合同で開催したものです。

寸劇は、駐在所員が犯人役と警察官役に分かれ、また出席者の中からも2名参加し、「あなたの銀行口座が凍結されるという情報があります。銀行からお金をおろし、自宅に来る警察官に預けてください。」とうそ電話をかけて被害者を騙すという実際の手口を、披露しました。鹿児島弁で繰り広げられる軽妙なやり取りやアドリブを織り交ぜた巧みな演技に出席者らは楽しみながらも被害に遭わないよう気持ちを新たにしていました。

庄屋光広巡査部長は、「警察でお金を預かるということは絶対にありません。一人で悩まず、まずは相談してください。」と話し、防犯を呼びかけました。